

経営資源を集中させてニッチトップ企業を目指す 技術と顧客への個別対応で高付加価値化を実現

高周波・マイクロ波による誘電加熱装置メーカーで国内首位。顧客のニーズを実現していくことで、強く深い電波エネルギーを用いた加熱技術が、樹脂加工、木材建材加工、食品加工、その他のさまざまな物質の加熱、乾燥などの用途に広がっている。また、誘電加熱の内側から温める特長を活かして世界で初めて高周波によるがん温熱治療装置を開発し、副作用の殆どない治療法として確立している。「常に一步前進」を社是に掲げる技術開発型企業で、誘電加熱技術装置での世界トップ企業を目指している。

所在地 大阪府大阪市天王寺区上汐6-3-12
電話/FAX 06-6771-0605 / 06-6771-6898
URL <https://www.vinita.co.jp/>
代表者 代表取締役社長 山本 泰司

設立 1953年
資本金 8,500万円
従業員数 150人



誘電加熱分野への技術の集中と顧客への個別対応で高付加価値を推進

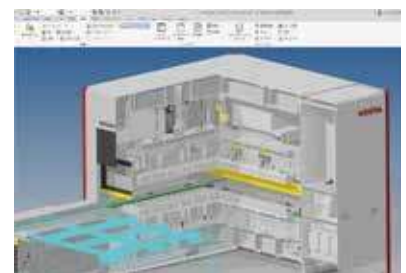
誘電加熱の市場は小さいが同業者が少ないため、技術を絞り込み高付加価値戦略に経営資源を集中。コア技術の高周波発振器において、10年前には最大75KWであった出力を最大300KWの世界最大クラスへと革新し、大型乾燥機用途では同社の大出力誘電加熱装置が支持されるようになった。また、難易度の高い依頼であっても開発から対応するため、工場に大規模な試験設備や試験ラボを設けている。顧客との共同試験を積極的に実施し、顧客ごとに開発・設計をカスタマイズすることで、高付加価値化を推進。



工場に設置した試験ラボ

開発・設計業務への特化とデジタル化により業務効率を向上

人員の31%が設計部門、6%が開発部門であり、開発と設計に集中させている。外部に依頼できる加工、配線、組立などは大阪府下の中堅・中小の協力企業に依頼し、搬送装置や炉体等は全国にある中堅の専門メーカーとアライアンスを組み仕入れている。また、設計は3D-CADでデジタル化を進め、過去の設計データベースを整備して約数万点ある装置部品の調達に活用。設計や製造の進捗、発注部品の納期や入荷および工程の進捗管理、品質管理などを生産管理システムにて管理し、業務の効率化を図っている。



3D-CADによるデジタル化

誘電加熱の特長を活かす新製品開発への取組と独自の教育制度による技術力の向上

今後はさらに誘電加熱技術を産業や医療分野で活かしていくには、周辺技術としてロボット、センサ、IoTが不可欠だが、これらの技術をすべて同社では賄えないため、専門メーカーとのアライアンスに取り組んでいる。また、誘電加熱技術や高周波発振器の調整技術等は同社独自の技術であり、現場技術者には独特の高いスキルが求められる。高周波発振器の調整技術とはハード的なすり合わせ技術と測定器からの情報による調整技術を総合したものであり、それらを体現させて教育訓練できる場として「技術道場」を設置。



技術の教育訓練「技術道場」